



- ① 配本希望部数をご記入のうえ郵送またはFAXにてご連絡をお願いいたします。希望部数を優先して配本しておりますので、必ずお申し込み下さい。
- ② 委託期間内返品可 配本後到着の注文書を注文扱いにて出荷させていただきます。
- ③ ★印の図書は特にご注目下さい。平積み頂ければ幸いです。
- ④ 小局ホームページより、「新刊のご案内」最新号がダウンロードできます。

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2019年1月25日配本 定価3888円(本体3600円+税) 秋保 亘 著 スピノザ 力の存在論と生の哲学 ISBN978-4-588-15097-5 C1010 ★ スピノザの生を切実に貫いていた問いとは、いったい何だったのか——。みずからの名をもって一人称で語る最初期の著作『知性改善論』でその哲学的企てを開始したスピノザは、いかなる道をたどって稀代の哲学書『エチカ』に到達したのか？ スピノザ哲学の生成と展開を緻密に再構成し、その総体を〈生の肯定の哲学〉として一貫した姿で描き出す、正統にして革新的な挑戦。気鋭の著者が放つ渾身の論考！ 【哲学・思想】 ☆関連書：A・シュアミ&A・ダヴァル『スピノザと動物たち』、G・ドゥルーズ『スピノザと表現の問題』（小局刊）。	A5判上製・304頁
-------	----	--	------------

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2019年1月25日配本 定価3888円(本体3600円+税) 亀井 大輔 著 デリダ 歴史の思考 ISBN978-4-588-15101-9 C1010 ★ 「歴史とは何か」と問うとき、われわれは起源から目的へと直進する哲学的伝統と言語のシステムに囚われてしまう。一九六〇年代のデリダはそのような歴史、あるいは歴史を思考することの困難をモチーフとして脱構築の思想を形成し、自らの理論の射程を爆発的に拡大していった。初期デリダの諸論考をクロノロジックに読み解くことで、その独創的な仕事に通底する「歴史の思考」を示す。 【哲学・思想】 ☆関連書：デリダ『エクリチュールと差異』、齋藤、澤田、渡名喜、西山編『終わりなきデリダ』（小局刊）。	A5判上製・264頁
-------	----	--	------------

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2019年1月25日配本 定価6264円(本体5800円+税) 水野 剛也 著 有刺鉄線内の市民的自由 日系人戦時集会所 と言論・報道統制 ISBN978-4-588-37715-0 C1022 第二次大戦下、アメリカ西海岸地域に住む約十二万人の日系人は敵性外国人として居住地を追われ、収容施設に隔離された。本書は最初期の仮設日系人収容所である「集会所」で行われた、印刷物の検閲や日本語使用の規制など多領域にわたる市民的自由の侵害を実証的に解明する。有事における言論・報道統制のありかたのみならず、民主主義の内包する矛盾とその限界を考察するジャーナリズム研究。 【現代史】 ☆関連書：スウィーニィ『米国のメディアと戦時検閲』、石坂悦男編『市民的自由とメディアの現在』（小局刊）。	A5判上製・456頁
-------	----	---	------------

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2019年1月31日配本 定価3024円(本体2800円+税) 壽福 眞美、法政大学サステイナビリティ研究センター 編／槌屋 治紀、明日香 壽川、吉田 文和、ほか著 「エネルギー計画2050」構想 脱原発・脱炭素社会 にむけて ISBN978-4-588-62540-4 C0031 原子力や火力発電に代わる自然・再生可能エネルギーの技術的發展が著しい現在、日本のエネルギー政策は持続可能な未来に向けてどのようなビジョンを描くべきなのか？ 国内の現状のみならず、ドイツほか先進各国の環境政策、住宅・交通分野の市場の実態に通じた第一線の専門家たちが集い、2017年夏、法政大学サステイナビリティ研究所主催で行われたシンポジウムの記録。 【政治・環境政策】 ☆関連書：船橋晴俊、壽福眞美編著『持続可能なエネルギー社会へ』、本田宏『参加と交渉の政治学』（小局刊）。	A5判上製・194頁
-------	----	---	------------

ご担当者様 氏名： [] 担当ジャンル： [] TEL： [] E-mail： []

- * 配本部数等で事前にご連絡する場合がございます。上覧にご担当者様氏名・TELをご記入下さい。
- * 宛名ラベルの内容に変更がございましたらお知らせ下さい。次回以降訂正致します。
- * 今後、新刊内容のデータ等をeメールにて配信させて頂く場合がございます。よろしければメールアドレスをご記入下さい。